

「ともまなびガイド」の年間活用例

年間活用モデル

「学年や校内の体制」

年度始めの校内研修など

「特性理解編」「知識編」の活用

- ・授業UDや合理的配慮の視点での授業づくりや特別支援教育に関する用語や制度を確認

学年部会、校内委員会など

「個別の配慮・支援シート」の活用

- ・前年度から継続して配慮や支援が必要な生徒についての情報の共有化*
 - ・小学校からの引継ぎ内容の共有化
- *前年度に配慮や支援を行っていた生徒は4月から継続して配慮や支援をしていく

4月～5月中旬

「教師」

授業UD化のチェック

「授業UDチェックシート」の活用

- ・教師自身、教師間で授業UD化の状況を確認

発達障害の特性を有する生徒の確認

- ・教科担任、特別支援教育コーディネーターの観察（授業参観、ノートや作品などの間接観察）
- ・校外学習等での行動を観察
- ・「特別な教育的支援を必要とする児童生徒のチェックリスト」の実施

学年部会、校内委員会など

「個別の配慮・支援シート」の作成

- ・生徒の学習の困難さや認知特性などを確認
- ・背景要因の検討
- ・全教科で共通して実施する配慮や支援の検討
- ・検討内容をシートに記入

※既に個別の指導計画の様式がある場合は、個別の指導計画作成時に、「個別の配慮・支援シート」で参考になりそうな項目を活用してください

5月下旬～6月上旬

教科指導での配慮や支援の検討

「特性理解編」の活用

- ・認知特性や認知処理様式の確認
- ・学習の困難さを基に、実施する配慮や支援の検討

「個別の配慮・支援シート」の作成

- ・これまでの授業で見取った生徒の実態と実施する配慮や支援を記入

6月中旬～3月上旬

検討した配慮や支援の実施

学年部会、校内委員会など

「個別の配慮・支援シート」についての助言

- ・作成されたシートの内容を評価
- ・より効果的な配慮や支援についての検討、助言

学年部会、校内研修など

「知識編」の活用

- ・家庭訪問や教育相談に向けて、合理的配慮の提供までの流れや基礎的環境整備についての再確認

長期休業中（8月・12月）など

配慮や支援の評価

「個別の配慮・支援シート」の活用

- ・実施した配慮や支援について評価



「特性理解編」の活用

- ・評価を基に、配慮や支援の加除訂正



「個別の配慮・支援シート」の作成

- ・次学期に実施する配慮や支援の記入

授業UD化のチェック

「授業UDチェックシート」の活用

3月中旬

学年部会、校内委員会など

「個別の配慮・支援シート」の作成

- ・1年間実施した配慮や支援を評価し、次年度に向けて、新2、3年生用のシートを作成する

卒業生用引継ぎ資料の作成

「個別の配慮・支援シート」の活用

- ・蓄積してきたシートを基に、進学先への引継ぎ資料を作成する

※発達障害の特性を有する生徒の確認は、6月中旬以降も随時行ってください